

改善プログラムシート

施設の目指す姿

堺市民センターは、市民が地域の中で安全・安心、心豊かな生活を送るため、文化、情報、知識、福祉の専門機能を備え、多様な世代が集える「地域コミュニティ活動の拠点」となることを目指します。

施設名

堺市民センター

担当部課名

市民部堺市民センター

優先順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
①	<p><センター全体> 複合施設としての一体的な管理・運営のあり方について検討します。</p>	2015年3月	センター全体としての管理運営経費の削減	<p>現在、センターの管理・運営は直営で行っていますが、複合施設のため、他の同様施設に比べ、人件費・維持管理費などコストが多くかかっています。仕分け結果では、センター内の各施設の業務について、コストを意識した業務展開を検討するべきではないかという指摘を受けました。地区拠点としての市民センターとするために、複合施設としての機能を十分に発揮しつつ、各種事業の連携や施設一体としての管理運営についても進められるよう検討します。</p> <p>検討にあたっては、建物、設備ともに老朽化が進んでおり、大規模修繕計画を待つ状態ですが、都道拡幅事業の都市計画決定(2013年度予定)により、数年後に建替えまたは移転の可能性があるため、短期と中長期の視点の両面から行います。</p> <p>また、日曜開庁業務については、検証を行い行政窓口のあり方を検証していきます。(2011年度検証開始、2012年度検証終了)</p>
②	<p><センター全体> センター館内各施設の職員による定期的な連絡会議を立ち上げ、情報の共有化を図り、サービス拡大と経費削減に活用します。</p>	2011年10月開始	センター全体に対する市民(利用者)ニーズの把握ができる。各施設のコスト把握をもとに、より効果的・計画的な事業策定や予算編成ができる。	<p>今まで館内各施設で取得した利用者ニーズは、その施設内だけで活用され、業務展開や方向性についても各々の施設と所属部間だけの情報でした。今後は、館内施設間相互の情報提供や協議を通して、センターに対する市民ニーズと各施設の現状について共通の認識を持ち、サービス拡大と経費削減に活用します。</p> <p><実施方法・内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設の長及び担当者で構成し、月1回程度開催。 利用者からの声や各館の事業・イベントについての情報交換。 センターの運営に関する経費、要修理箇所等の情報交換。 災害時のセンターについて想定される事象や課題について意見交換。
③	<p><ふれあいけやき館> 受益者負担のあり方を検討します。</p>	2013年3月	受益者負担の適正化	<p>「受益者負担の適正化に関する基本方針」に基づき、経費負担の公平性の観点から、ふれあい館事業の一環として受益者負担のあり方を検討していきます。</p>
④	<p><堺図書館> 現行のおはなし会(小学生以下対象)に加え、乳幼児向けおはなし会を市民ボランティアとともに実施します。</p>	2011年10月開始	市民ボランティアの参画 おはなし会参加者数の増加	<p>現在おはなし会、展示会等を市民の協力の下に行っていますが、新たに乳幼児向けおはなし会を開始することで、さらに市民参画を進めるとともに、要望の多い乳幼児サービスの充実につなげます。そのために、2011年10月のおはなし会ボランティア養成講座でボランティアを養成します。</p>

施設名

堺市民センター

担当部課名

市民部堺市民センター

優先 順位	改善内容	改善時期	改善の効果	改善が必要と考える背景や考え、実施方法
⑤	<p><堺図書館> 開館日・開館時間拡大の検討を行います。</p>	2012年度 検討	利用者の利便性の向上 利用者数の増加	<p>利用者の利便性を考え、現在館内整理日として休館日になっている毎月第2木曜日の開館の可能性を検討します。 また、木曜日の開館時間について、現行の午前10時～午後5時を午前10時～午後6時への延長を検討します。</p>
⑥	<p><ふれあいけやき館> 入浴時間短縮により、予算縮減に努めます。</p>	2011年7月 開始	2011年度予測削減額 200千円	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴時間帯に入浴者不在の時間があつたため、入浴者数動向調査を実施しました。入浴時間の有効利用を図るため、2011年7月から入浴時間を90分短縮しました。 ・使用していない箇所の消灯、適正な空調温度の設定など、節電・節水の徹底を図っています。